

陸上運動部部便り

2007年11月号

箱根駅伝予選会

目次

| | | |
|-----|--------------------------|----|
| 1 | 箱根駅伝予選会 | 1 |
| 1.1 | 監督の言葉 | 1 |
| 1.2 | 長距離チーフの言葉 | 2 |
| 1.3 | 大学院駅伝主将の言葉 | 2 |
| 1.4 | 新長距離チーフの言葉 | 2 |
| 1.5 | 出場選手の言葉 | 3 |
| 1.6 | 試合結果 | 8 |
| 2 | 自己記録更新者 2007.10.9-10.28 | 8 |
| 3 | 2006年度部内5傑 2007.10.28 現在 | 9 |
| 4 | 主務より | 10 |

1 箱根駅伝予選会

1.1 監督の言葉

予選会 学部チーム25位、院生チーム34位

監督 寺田 秋夫

第84回箱根駅伝予選会は、立川昭和記念公園地区で開催されました。

今年の学部チームは、活躍を期待していた山本(4年)の故障が癒えず前日に補欠入れ替えし、チームのまとまりが不安でしたが4年生が7人、3年1人、2年3人、1年1人の「今年がピーク」という布陣で臨み、気象条件が良ければ久しぶりの10時間台を出して20番以内に入りたいというのが私の期待でした。また、学連選抜チームへも選手派遣し、箱根へ挑戦する気持ちが希薄にならないようにしたいとも思っていました。他方、大学院は、調子が上がってきた中山(M2)を中心に11時間20分程度の大学院チーム新記録を出して、今年の4年生や他大からの大物新人が入りそうな来年につなげたいというのが期待でした。

当日は、日差しも強くレース中に20度前後まで上がる予感され、オーバーペースになりがちなか

の試合では後半崩れる選手も多数出てくる懸念もあり、余裕を持って入るように確認してスタートします。

最初の5kmでは、松本(4年)が国学院・青学・東農が形成する15分を切って行く集団に入り80位前後で通過していき、その後16分を越えるあたりで、石原(4年)・中山・片岡(M1)と好調に通過します。後続も16'20"から17'00"で予定通りに通過していきますが、期待の竹俣(1年)がやや険しい表情なのが気がかりでした。5kmを見届けた後、ゴール地点にある大型TVを見てみると、予選通過ラインあたりの大学の映像が出て松本の姿が出ず、心配しながら15kmへ向かうと、松本が苦しげながら辛うじて62'00"を切れるペースで通過し、選抜チームに選ばれそうな選手の中では10番程度と期待が続きます。その後90秒以内で石原・中山が来ないかと期待しましたが、3分近く離れて石原が脚を庇うような走りで通過し、その後ろには中山ではなく片岡が軽やかな走りで続きます。更に1分差で野村・山田の2年生コンビと竹俣が安定したリズムで通過し最後に伸びれば66分台が出るかと思われました。その後は少しは大きく離れてしまい、特に院生が練習量が満足でない中、最後まで持つ心配でしたが、全員を見届けてゴールへ向かいます。ゴールでは上位は中央学院・東農・青学が目立ち、山梨学院・明治・法政が目立たず、予選通過の行方が気になりますが、山梨はトップの貯蓄で通過し、青学はインカレポイントにより法政に逆転され本戦出場はならず、また、明治も予選落ちとなりました。本学は結局、学部は松本の62'28"(135位)が最高で総合11時間16分47秒に終わりタイムで26番目でしたが、インカレポイントで30秒稼いで駿河台大を抜いて25位と昨年と同順位に終わりました。また、院は片岡の自己最高更新の健闘と下位の選手が最後の5kmをうまくまとめたことで11時間43分36秒の34位でした。

学部チームは期待していた分結果は残念でしたが、上位5名に1,2年生が3人入り、長くオーバートレーニングで走れなかった山崎(2年)も復活間近を印象付けましたので、2,3年先は、再度充実したチームにでき

そうであり、そのためにも来年の奮起が重要です。また、今回も4年間地道に努力した片山が選手出場するなど意義のある試合ではありましたが、この試合は箱根駅伝”予選”ですし、「いつかは東大が再び箱根に出るために」自分たちは走るのだ、という意識を忘れずにあたって行きたい試合です。

予選会全体を見渡すと、いつでも箱根に出られる体勢の強豪、予選通過には壁があるがやり方次第で現実として箱根を論ぜられそうな大学、予選会を長距離ブロックの年間目標としてやっているチーム、とりあえず出ているチームという四つの色分けですが、上から2つめ以内のブロックに戻るのには容易でないですが、かつて箱根に出た時も各自が大きな夢を諦めずに追っていった結果だったように感じますので、箱根に出たいという気持ちとそのために当然やるべきことを、当たり前前にこなして行くようにしたいと思います。

今後ともよろしくご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

1.2 長距離チーフの言葉

長距離チーフ 松本 翔

不安が的中した...

まさにこれが今大会での学部チームの結果だと思えます。1年生の頃から4年連続出場の松本、石原、斉藤や成長著しい2年生の山崎、山田の誰もが9月以降も足の故障を抱えながら合わせる形になりました。野村は腰の張りが残り、梶井や山口さんは調子を落とし、竹俣や月崎は長い距離への対応が遅れていました。5000mの持ちタイムや本人の「実力」からいえば11時間切りという目標は達成できると信じておりましたが、やはり20kmのレース、立川のコースは甘くなく、1人あたり1分30秒あまり遅いタイムとなりました。

私たちはこの予選会を最大の目標として夏以降練習に取り組んできており、このような結果に終わったことを本当に残念に思います。もっと長い練習を増やせば、故障しないようもっと手入れすれば、などと後悔することは多々ありますが、全ては後の祭りです。しかし次期チーフを中心として、この反省を活かして欲しいと思います。現4年生が抜ければ現状での走力のdownは避けられませんが、パート全体で切磋琢磨し、今年以上のチームを作って行ってくれると信じております。

予選会を走った12人は、東京大学陸上部員の想いを胸に秘め、OBの方々の応援に背中を押されて走りきることが出来ました。本当に支えてくださった皆様に

は感謝の念が付きません。感謝の詞を申し上げるとともに、今後とも変わらぬご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。

1.3 大学院駅伝主将の言葉

大学院駅伝主将 中山 陽右

院生チームは今回で4回目を数えます。小山さん、山崎さんについては4回フル出場、学部時代から数えれば8回、7回出場となり、頭が下がります。まずは、院生チームのパイオニアとして長年チームを引っ張ってこられたお二人に、深く敬意を表します。

今年は合同練習に加え、多くの院生が学部生の合宿に参加し、積極的に練習に取り組めていたと思います。予選会が近づくにつれ自然にムードが盛り上がり、よいチーム状態で臨めたと思います。そして、前回同様14人エントリーし、目標も前回同様11時間20分と設定しました。しかし、好走した者もいたものの、失速したりペースが上がらなかつたりした者も多く、去年より順位、タイム共に落とし、チームとしては消化不良な結果となりました。一方で、同じ大学院の筑波大学大学院よりは優り、初出場となるメンバーを今回も出場させることができたことは良かったと思います。来年はさらに戦力が増えることが予想され、学部チームに対する先着、選抜チームへの選出など、よりレベルの高い目標が掲げられると思います。忙しい研究生活の中、各人が陸上競技に対する高いモチベーションを持ち続けられるかどうか、ということが今後のチームの成長の鍵となります。チームとして進化を続け、来年、再来年と、院生チームのよい伝統を築いていって欲しいと思います。

最後になりますが、早朝より応援に駆けつけて下さった多くの方々、補助員、サポートをしてくださった方々、また、院生チームの練習に参加して練習を盛り上げてくださったOBの方々に心より御礼申し上げます。

1.4 新長距離チーフの言葉

新長距離チーフ 梶井 駿介

今回は、チーフの松本翔先輩を筆頭に、層の厚い学年の最終学年ということで、好記録が期待された大会でした。しかし、直近のチームの状態を見ると、決して万全とはいえない状況であり、結果も残念なものでした。レースの内容は監督および松本チーフに譲り、僕は予選会前の練習について触れようと思います。

この夏はいつもと若干方針を変え、8月に菅平高原、妙高高原での高地トレーニングをこなし、9月に清里町で仕上げるというものでした。結果論かもしれませんが、この方針が裏目に出てしまったように思われます。確かに9月に清里町でレースに近いペースで走り、合宿自体は完成度の高いものになったように思われますが、スピードが出てしまうあまり出しすぎてしまい、故障者が多くなってしまいました。東京に帰ってきてからも、走り込む機会が少なかったように思います。大会1週間前には主力選手のほとんどがまともに走れないという状況でした。

結果を嘆いても仕方ありませんが、これで強力な4年生が抜けてしまいます。しかし、3年生以下の選手も確実に力をつけてきています。この冬は確実に練習をこなし、チーム全体が一回り大きくなって、来年の対校戦ではチームの稼ぎ頭となり、予選会でのリベンジを果たしたいと思います。ご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

1.5 出場選手の言葉

学部生

松本 翔(4年) 62'28 (135位)

今年で4回目、最後の予選会を走ることになりました。しかし結果は昨年のタイムにも及ばず、本当に悔いの残る結果でした。

状況としては8月に順調に練習を積むも、質を上げるべき9月に故障をしてしまい、9月下旬からは焦り・不安と戦いながら日々をすごしました。練習もちゃんとこなせるときとこなせないときがあり、体力は落ちてないはずだと思いつつも自信を持ってスタートラインに立つことが出来ませんでした。レースは5kmを14分56秒で通過するも、すでに苦しくなってきた徐々にペースを落とします。10kmは30分14秒。すでに集団からこぼれ、苦しい走りでした。以降は次々と選手に抜かれ、足に力が入らず、本当に情けない限りです。15kmは46分18秒、この5kmは16分を回りました。左のふくらはぎが攣りそうになったりして思うように動かすことも出来ず、そのままゴールとなりました。

こうして4年間の陸上生活を終えることになるのは本当に悔しく思います。競技人生はまだまだ続けるつもりですので、この思いを忘れることな

く、日々精進してまいりたいと思います。4年間、本当にありがとうございました。

石原 宏尚(4年) 65'24 (241位)

今シーズンは怪我ばかりで、結果も散々なものでした。やはり練習は嘘をつきません。大学院でも競技者として続ける予定です。夢は大きく、院生初の箱根ランナーになるべくとりあえずは怪我の完治を優先し、少しずつ練習を積み重ねていきたいと思っています。

東大の名前を背負って走れたことは誇りに思います。4年間ありがとうございました。

野村 圭吾(2年) 66'42 (275位)

かなりいい状態で本番を迎えることができ、目標タイムは65'30としました。前半はうまく集団につき、ほぼ設定通りでした。公園内に入ると集団がばらけて一人になりましたが、そのこと及び相対的には順位を上げていったことがペース感覚を鈍らせる結果となりました。15km地点でペースがだいぶ落ちていることに気づき、巻き返しにかかろうとしたのですが、まだ4kmを残すところで両ふくらはぎと右股関節まわりの筋肉が攣りそうになってしまいました。その後は攣りかけては伸ばすの繰り返しで、腿だけを使うように意識したりいろいろと策を講じてみたのですが、ペースを上げるとどうしても完全に攣ってしまいそうで、あとはただ走りきるだけでした。去年に続き不完全燃焼なのが残念でなりません。また、多くの声援を送っていただいたのに、それに応える走りができなかったことを大変申し訳なく思います。来年こそはゴール後に倒れこんで動けなくなるくらいに燃え尽きます。ご声援ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

山田 健太郎(2年) 66'49 (279位)

8月は菅平と妙高で距離を踏めましたが、8月末に怪我をしてしまい、それからの二ヶ月は思うように練習が積みませんでした。足の故障に不安があるままスタートラインに立つ事になりましたが、最低でもチーフに言われた設定67分は切ろうと思い20kmに臨みました。

レースペースでの練習が不足していたので、抑えめで5kmを入り16'45"で通過しました。余裕はありましたが、足の痛みがあったので無理せずほぼイーブンで走りその後のラップは16'35-16'42

でした。ラスト5kmは練習不足のため足が上がりませんが、予想以上に大きな声援に励まされました。この5kmを16'47"で我慢し、最後まで順位を上げていくことができました。

万全の状態ですスタートラインに立てなかったことには悔いが残りますが、今の状態での力は出し切れたと思います。

この大きな舞台で走れた経験を糧に、今後の練習に励んでいきたいと思います。そして、来年の予選会ではもっと高いレベルで勝負したいと思います。

竹俣 直道 (1年) 67'11 (291位)

ずっとブラウン管の向こうの世界だった箱根駅伝、その舞台へとつながる予選会に出場できるということで、緊張しながらも「やってやるぞ」という気持ちで本番に臨みました。

5kmの通過タイムは16'15"、10kmの通過タイムは32'45"で、レース前半はほぼ予定通りのペースで走ることができました。しかし公園内に入ってから疲労がどっと出てしまわずとペースが落ちてしまい、ラスト1kmもスパートをかけることができませんでした。なんとしても65分台は出したいと思っていたので、結果が悔いの残るものとなってしまい残念です。

結果は悔いの残るものとなってしまいましたが、今回の大会で自分が大学生ランナーの中でどの程度の位置にいるかがはっきりと見えたので、今後より上を目指していく上で良い経験が積めたと思います。これからはより一層質の高い練習を積んでいき、もっと上位の選手たちと勝負できる選手、そしてチームを引っ張っていける選手になれるよう精進していきたいと思います。応援・サポート有難うございました。

斉藤 俊 (4年) 68'33 (325位)

当初は65分半を目標としていましたが、京大戦以降の絶不調な状況に鑑み、昨年の66'44超えに下方修正して臨んだ本番でした。直前の練習では3'20/kmのペースがとてつきつかったため、5kmまではとにかく無理をしないように走りました。その後も10km過ぎまでは大きく崩れずにいきましたが、昭和記念公園に入ってから痛めていた左股関節がきつくなってがくりとペースを落とし、持ち直すことができないままのゴール

となりました。ラップは16'44-16'50-17'25-17'32でした。

三度の夏合宿では怪我に泣かされ、その上京大戦の800・1500用の練習も織り交ぜながらだったため、夏場の走行距離が圧倒的に不足していたことが今回の結果の原因でした。トラックの中距離種目にも未練があったため欲張ったことをしてしまいましたが、けっきょくどちらも不本意な結果に終わり、補欠になってしまった仲間や応援してくれたみなさんには申し訳なかったと思っています。と同時に、一年生のときと大差ないふがない記録でしたが、途切れることのないみなさんの応援のおかげであきらめずに走りきることができ、本当に感謝しています。ありがとうございました。今後は対校戦というモチベーションはなくなってしまうかもしれませんが、フルマラソンなどにも挑戦し、楽しく陸上競技を続けて行きたいと思います。

月崎 竜童 (4年) 68'51 (335位)

箱根駅伝予選会は僕にとって、手に届くよう縁の無かった大会でした。

大学2年で5000mは15分28秒、ハーフマラソンは70分33秒という成績を残しながら、選考会では疲労が抜けず補欠に甘んじ、3年時では学科との両立に苦しみ、ストレスや疲労から不眠症や急性肝炎を患い、選考会では立ち止まってしまいました。中距離チーフという役目を負うことが決まっていた僕にとっては、最後の挑戦だと心中期するものがありましたが、三年間で一度も走ることが叶いませんでした。

今年は第一次選考が大学院入試、最終選考会が京大の一週間前であり、京大1500mの選手であり中距離パートの牽引役である自分は、最終選考会を走らず、2週間前に一人で走るという決断を下しました。結果は気温33度の高温が災いして、翌週17度のなか好走した4年の山本祥に選手の座を奪われました。前年の選考会で、僕が泣きながら立ち止まった時、後ろから尻を叩き「来年があるのだから、最後まで走れ!!」と檄を飛ばし完走に導いてくれたが山本祥でした。

今回図らずも山本は選考会で選手の座を射止めながら、そこで痛めた足の為に、断腸の思いで選手の座を自分と代わりました。僕にとっての初めての予選会は68分51秒(学部7位)と決して良いタイムではありませんでしたが、調子が上ら

ず苦しんだ長距離チームに貢献できたのではないかと思います。

最後に、松本翔という選手に引っ張られ石原、斉藤といったライバルに恵まれ、陸上部の仲間と共に走れたことを感謝したいと思います。ありがとうございました。

山口 健介 (4年) 69'06 (341位)

今の自分に出せる最もよい記録を出すためには、前半をできる限り抑えることが必要だと思っていました。予定通り十分な余力を残して10kmを通過したのですが、そのあたりで腹痛に襲われてしまい、ペースを上げることなくレースが終わってしまいました。

11時間を切るというチームの目標を達成するため、1秒でも貯金を作りたいと思っていただけに、この結果は非常に悔しく、そして申し訳なく思っています。この悔しさを胸に秘め、これから練習に励んでいきたいと思えます。応援やサポートなどどうもありがとうございました。

山崎 貴裕 (2年) 70'37 (375位)

去年よりも3分遅いタイムでした。去年の冬にオーバーレーニングに陥り一時はキロ7分のジョグや階段登りが非常につらく感じるほど体がおかしくなっていました。それでも箱根予選会だけは出場したいと徐々に体調を取り戻し、選手に選ばれました。しかし、9月の北海道合宿で足底を怪我してしまい、二週間走れず、距離に対応できないままのレースとなってしまいました。思うような走りができず、レース中チームメイトやOBの方々の熱い応援が聞こえ、こんな走りしかできないなんてととても悔しかったです。もうこんな走りはイヤです。来年は皆さんの応援に納得できる走りで応えられるよう地道に努力を重ねていきたいと思えます。

片山 芳明 (4年) 71'12 (390位)

松本が僕に対して設定したタイムは69分ちょうどでした。2週間前から調子もどんどん上がっていたのでいけると思っていたのですが、ラップは17'10-17'36-18'11-18'15、ゴールタイムは71'12でした。直前の調整でもう少しどうにかできた面もあったとは思いますが、この結果は力不足によるものが大きかったということ、痛切に感じたレースでした。年間通して、普段のポイント練習以外

のつなぎの jog をもっとしっかりやって、練習量を増やすべきだったと今更ながらに感じています。

4年として、思うような結果を最後まで残せないまま引退することになりました。応援していただいた部員やOB・OGの皆様、サポートしていただいたマネージャー、当日朝早くから補助員をしてくれた下級生には、申し訳なさ感謝の気持ちでいっぱいです。

自分が頑張らないで、後輩たちに頑張ってもらいたいとは言えないので、今後の予定は未定ですが、どんな形で競技だけは続けていこうと思います。そして、後輩の刺激になるような結果をきちんと残すことをモチベーションに、残りの学生生活を過ごしていきたいと思えます。

4年間、本当にありがとうございました。

梶井 駿介 (3年) 72'09 (404位)

結果は見るも無残なものでした。1週間前は京大戦の疲れからか、調子是最悪でした。それでも当日までには何とか復調し、本番に合わせました。

昨年、思い切って突っ込んだら最後の5キロで力尽きてしまった反省を元に、今回は徐々にスピードを上げるくらいの気持ちで走ろうと心に決めていました。スタートから5キロまではその設定どおりで1キロ3'22程度で走りました。そこから市街地にかけてうまく落ちてくる選手を拾いながらペースを上げていくつもりでしたが、5キロの給水でお腹に水をかけてしまったからはお腹の調子がどうもよくありませんでした。気になりだしてからは負のループで、意識すればするほど調子が悪くなってきました。10キロを通過したころには既に完走することしか考えられませんでした。そのまま全く何もすることが出来ないままゴールしました。部内順位は11位、タイムは72'09と自分の実力および去年と比較してもひどいものでした。

これからチームを引っ張っていかなければならないのに、このような結果になってしまい、応援していただいた皆様には申し訳ない気持ちでいっぱいです。反省点としては、合宿を終えてから20キロをまともに走る機会がほとんどなかったことが上げられます。20キロの勘が取り戻せず、弱点であるお腹の調子も見ることが出来ませんでした。この悔しさをバネに、厳しい冬練に取り組み、来

年の対校戦および予選会ではチームの先頭を引っ張っていけるよう頑張りたいと思います。

菅野 雄大 (4年) 74'27 (449位)

結果に関しては「申し訳ない」の一言です。

スタート直後の自衛隊基地内で急性の腰痛が出てしまい、全くペースが上がらないまま後半はただゴールだけを目指す情けないレースとなってしまいました。東大陸上部員として戦う最後の対校戦がこのような結果になってしまい、非常に悔いが残ります。応援をしてくれた方々、とりわけ今回サポートに徹してくれた四年生に報いることが出来なかったことは無念でなりません。競歩選手として学生競技生活の大半を過ごしてきましたが、多くの仲間の声援を受け、このような素晴らしい大会に出場できたことを誇りに思います。私にとっての集大成はまだ先です。今後も競技者として、より一層の成長を遂げたいと思います。

最後に、現在の自分があるのは、これまで私を支えてくださった方々の存在に尽きます。四年間、本当にありがとうございました。

大学院生

片岡 哲朗 (M1) 65'45 (254位)

先輩方が築いた道と学部生の協力のおかげで大学院でも予選会に出られるという機会に恵まれ、4回目の出場となりました。院に進学してから5000mのベストを更新し、夏の練習や9月に参加した学部の合宿でもいい練習ができており、昨年までよりも力がついているという実感はありました。目標は65分でした。結果はもう少し記録を伸ばしたかったところですが、ベストを35秒更新して、失敗なく走れたと感じているところです。5kmごとのラップは16'05"-16'15"-16'39"-16'46"で、公園に入るまではラクにいけたのですが、終盤は脚が動かなくなりました。しかし公園内各所で応援していただき、何とか粘って走りきることができました。

来年は私が院生チームのまとめ役を務めさせていただきますが、皆が集合することが難しくても、連絡を取り合ってチームとして目標を共有し、記録を伸ばしたいと思います。

中山 陽右 (M2) 68'01 (310位)

直前の練習の流れは、前回よりもよい感じで、うまくいけば62分前半、最低でも63分中盤では

走れる状況でした。しかし、結果は非常に厳しいものでした。リズムに乗れない、脱水気味だったなど、いくつか理由は考えられますが、最後に自分の甘さが出てしまい、チームの足を引っ張ることとなり、申し訳なく思っています。しかし、思いがけず長く続いた競技生活の最後にこのような素晴らしい舞台で走ることができ、また生え抜きではないにも関わらず、駅伝主将としてチームに関わらせていただくことができ、嬉しい気持ちで一杯です。そして、自分が長く競技を続けることを支え、見守ってくださった方々に感謝の気持ちで一杯です。

最後に、多くの方々に早朝よりサポート・応援・補助員など多方面に渡り支援していただき、心より感謝申し上げます。そして院生チームのみんな、ありがとうございました！

山崎 智裕 (D2) 69'25 (350位)

タイムは69'25"、順位は350位でした。序盤はあわてずに落ち着いたペースで押していき、後半につぶれないように走ることを念頭に考えながら走りました。そのおかげで坂が多く、厳しいコースの後半をつぶれずに自分の走りをすることができました。ゴールタイムは目標タイムの68分を上回るものとなってしまいました。現時点での自分のすべての力を出すことができたと思っています。

応援、サポートをしてくださった皆様、本当にありがとうございました。

千島 悠司 (M1) 68'53 (343位)

練習不足がそのまま結果に現れてしまいました。公園に入るまでは遅いながらもペースを保つことができましたが、公園内のアップダウンで脚が耐えられませんでした。こうして大学院でも出場できる機会を得て走らせていただき、学部生を脅かす走りをしたところでしたが、不甲斐ない走りをしてしまい残念です。来年は夏から秋にかけて怪我をせずに練習を積み、この悔しさを本当に最後となる予選会で晴らしたいと思います。

小山 剛史 (D3) 70'06 (367位)

学部2年生のときから出場し続けて、8回目となる今回の予選会、記録は散々なものでしたが、私の陸上競技生活における1つの区切りになったと実感しています。応援してくださった方々、本当にありがとうございました。

村田 拓哉 (M2) 70'17 (368 位)

今年で学部のとよからの通算で5回目の出場をさせてもらいました。結果は70'17"、368位で昨年とほぼ同じでした。やはり、公園に入ってから後半はタイムが落ちてしまい、70分を切ることはできませんでした。しかし、昨年に比べ前半を抑えたことで、後半のペースダウンも抑えられたと感じています。同期には就職する者もおりますが、私は博士過程に進学する予定ですので、また忙しくなりますが来年も院生チームとして走りたいと思います。

ご支援、応援ありがとうございました

中原 健二 (M2) 70'57 (384 位)

今回で6回目の予選会でした。練習もうまく積み重ねて一番の調子でした。いい記録が出せると思って積極的に走ろうと思ったのが裏目に出てオーバーペースになってしまいました。結果今までで一番悪い記録になってしまいチームに迷惑をかけてしまいました。

来年は院生最上級生としてチームに貢献できるように一年間練習に励みたいと思います。応援ありがとうございました。

三石 郁之 (M1) 71'36 (396 位)

今回の予選会は17分という標準を切るだけで精一杯だった昨年とは違い、20kmという距離をしっかりと走りきり、チームに貢献できるような走りをするという事を目標に掲げて走りました。結果としては最初の5kmから足が思ったように動かずに、そのままラストまでいってしまうという情けない走りとなってしまいました。原因としてはケガによる夏場の走り込み不足と考えています。その不安と焦りから、復帰してもレース当日までにベストコンディションにもっていく事ができませんでした。

箱根予選会でのこの悔しさは、箱根予選会でした晴らすことができません。今の自分にできる事は、今年の悔しい結果を真摯に受け止め、長いスパンで来年の箱根予選会に向けて練習を積んでいく事だと思っています。練習に努めます。

最後に、とてもたくさんの応援して下さった方々の後押しがあり、20kmという距離を走りきる事ができました。本当にありがとうございました。

鈴木 崇人 (M1) 73'29 (439 位)

今年七月まで、故障が治りかけては練習して再び故障する、という悪循環に陥ってしまいました。それは練習を我慢できなくて繰り返してしまったため、院生となって気持ちが緩んでいたのかもしれない。そのような状態だったので、完治した八月以降は、昨年並みに力を戻すことで精一杯でした。しかし、結果は昨年より20秒遅かったものの、現状の力が出せたことと、院チームで10位以内に入れたことには満足しています。応援やサポートには懐かしい人も来てくださっていて、力になりました。本当にありがとうございました。

庄司 一郎 (M2) 74'10 (448 位)

昨年に続いて2度目の出場となりました。前回より練習も積み、もっと良い位置でゴールしたかったのですが、力及ばませんでした。20kmという距離は本当に辛くて、練習でも、本番でも、何度もやめたいと思いました。ですが、大学院の仲間や学部生の頑張りを見て力をもらい、たくさんの方々から応援の声をかけてもらう事でなんとか本番を走り切る事ができました。ありがとうございました。

田浦 秀俊 (M1) 75'50 (463 位)

僕は学部時代に予選会に出られなかったのが、初めての予選会でした。しかし十分な準備を積まず、しっかりと走りが出来ませんでした。

初めて走れたうれしさは全く消え、悔しさのみが残る予選会でした。僕は幸いにも後1回チャンスがあるので、しっかりと鍛錬を積み、来年は良い結果を残したいと思います。

吉田 和敬 (M2) 77'07 (471 位)

私は今回の予選会は、故障もあり、当初補欠ということでしたが、1週間前に選手交替で急遽出ることになったレースでした。故障の影響もあり、全く準備不足の状態での出場だったので、とにかく完走して記録を残すことだけを考えました。スタートしたときから脚の状態は悪かったのですが、とにかく並走する選手についていき、ゴールを目指しました。公園内に入ってから練習不足の影響がかなり出て、辛かったですが、各所での応援に励まされ、何とかゴールすることが出来ました。結果は当然満足のいくものではありませんでしたが、最後のレースを、たくさんの人の応援を受けて走ることが出来、本当に幸せだったと思います。

応援に駆けつけてくれた皆様、サポートして
くれた皆様、本当にありがとうございました。

1.6 試合結果

第84回箱根駅伝予選会

於 自衛隊立川駐屯地～国営昭和記念公園 (H19.10.20)

| 総合順位 | | |
|---------|---------|----------------------------|
| 順位 | 大学名 | タイム |
| 1 | 中央学院大学 | 10時間10分49秒 |
| 2 | 帝京大学 | 10時間12分14秒 |
| 2 | 城西大学 | 10時間12分14秒 |
| 4 | 山梨学院大学 | 10時間12分26秒 |
| 5 | 大東文化大学 | 10時間13分04秒 |
| 6 | 神奈川大学 | 10時間13分54秒 |
| 7 | 国土館大学 | 10時間11分01秒 (10時間14分26秒) |
| 8 | 東京農業大学 | 10時間12分35秒 (10時間14分15秒) |
| 9 | 法政大学 | 10時間13分18秒 (10時間16分38秒) |
| 以上が本戦出場 | | |
| 10 | 青山学院大学 | 10時間14分37秒 (10時間16分12秒) |
| 25 | 東京大学 | 11時間16分21秒 (11時間16分51秒) |
| 34 | 東京大学大学院 | 11時間43分26秒 (11時間43分36秒) |

7位以降の記録は、第86回関東インカレの成績に基づくアドバンテージタイムを差し引いた最終総合タイム。括弧内の記録はレースタイム。

| 個人順位 | | |
|------|-------|--------|
| 順位 | 名前 | タイム |
| 東京大学 | | |
| 135 | 松本翔 | 62分28秒 |
| 241 | 石原宏尚 | 65分24秒 |
| 275 | 野村圭吾 | 66分42秒 |
| 279 | 山田健太郎 | 66分49秒 |
| 291 | 竹俣直道 | 67分11秒 |
| 325 | 斉藤俊 | 68分33秒 |

| | | |
|-----|------|--------|
| 335 | 月崎竜童 | 68分51秒 |
| 381 | 山口健介 | 69分09秒 |
| 375 | 山崎貴裕 | 70分37秒 |
| 390 | 片山芳明 | 71分12秒 |

11時間16分51秒

| | | |
|-----|------|--------|
| 404 | 梶井駿介 | 72分09秒 |
| 449 | 菅野雄大 | 74分27秒 |

東大院

| | | |
|-----|------|--------|
| 254 | 片岡哲朗 | 65分45秒 |
| 310 | 中山陽右 | 68分01秒 |
| 350 | 山崎智裕 | 69分25秒 |
| 359 | 千島悠司 | 69分50秒 |
| 367 | 小山剛史 | 70分06秒 |
| 368 | 村田拓哉 | 70分17秒 |
| 384 | 中原健二 | 70分57秒 |
| 396 | 三石郁之 | 71分36秒 |
| 439 | 鈴木崇人 | 73分29秒 |
| 448 | 庄司一郎 | 74分10秒 |

11時間43分26秒

| | | |
|-----|------|--------|
| 463 | 田浦秀俊 | 75分50秒 |
| 471 | 吉田和敬 | 77分07秒 |

2 自己記録更新者 2007.10.9-10.28

10/12-13 秋期 OP(国立競技場)

1500m 千徳恒憲(3年) 4'18"20

10/27-28 第五回東大競技会(駒場)

| | | |
|-------|----------|----------|
| 400m | 定金駿介(1年) | 52"5 |
| 400m | 中嶋毅彰(2年) | 59"0 |
| 400m | 西川鋭(2年) | 55"9 |
| 400m | 横田祥(2年) | 53"8 |
| 800m | 木内久雄(1年) | 2'05"59 |
| 1500m | 木内久雄(1年) | 4'25"22 |
| 1500m | 渡邊拓也(1年) | 4'13"14 |
| 1500m | 日下桃子(2年) | 5'01"52 |
| 5000m | 井出昌宏(2年) | 16'38"70 |
| 5000m | 庄司健太(1年) | 16'56"29 |
| 5000m | 井上雄介(1年) | 16'54"35 |
| 5000m | 早川晃司(1年) | 16'35"73 |
| 5000m | 薫田洸一(1年) | 16'20"88 |
| 三段跳 | 定金駿介(1年) | 13m39 |
| 走高跳 | 荒井博貴(2年) | 1m55 |
| 走高跳 | 西田昂広(1年) | 1m60 |
| 棒高跳 | 原湖楠(1年) | 3m00 |
| やり投 | 千葉伸宏(1年) | 46m38 |

3 2006年度部内5傑 2007.10.28 現在

男子 100m

| | | | |
|---|-----------|-------------|------|
| 1 | 藤本 元太(4年) | 10"91(+1.3) | 8.12 |
| 2 | 渡辺 裕太(2年) | 11"01(+1.5) | 4.22 |
| 3 | 今村 岳(4年) | 11"22(+1.9) | 5.4 |
| 4 | 都井 紘(2年) | 11"25(-0.3) | 5.26 |
| 5 | 福田 篤(3年) | 11"28(+1.4) | 5.4 |

男子 200m

| | | | |
|---|-----------|-------------|------|
| 1 | 今村 岳(4年) | 22"52(+1.0) | 5.26 |
| 2 | 渡辺 裕太(2年) | 22"55(-0.2) | 5.12 |
| 3 | 福田 篤(3年) | 22"93(+0.3) | 7.7 |
| 4 | 藤本 元太(4年) | 23"23(+1.0) | 10.7 |
| 5 | 兵頭 直弥(1年) | 23"29(+0.4) | 9.23 |

男子 400m

| | | | |
|---|-----------|-------|------|
| 1 | 兵頭 直弥(1年) | 49"50 | 7.29 |
| 2 | 深澤 眞楠(3年) | 50"66 | 5.3 |
| 3 | 今村 岳(4年) | 51"06 | 9.8 |
| 4 | 梶岡 利之(3年) | 51"09 | 4.29 |
| 4 | 藤本 元太(4年) | 51"09 | 9.8 |

男子 800m

| | | | |
|---|-----------|---------|------|
| 1 | 斉藤 俊(4年) | 1'56"82 | 4.29 |
| 2 | 野村 圭吾(2年) | 1'57"75 | 4.14 |
| 3 | 渡邊 拓也(1年) | 1'58"59 | 9.23 |
| 4 | 川口 祐貴(2年) | 1'59"36 | 10.7 |
| 5 | 坂井 啓一(2年) | 1'59"59 | 7.7 |

男子 1500m

| | | | |
|---|-----------|---------|------|
| 1 | 石原 宏尚(4年) | 3'58"70 | 4.29 |
| 2 | 松本 翔(4年) | 3'59"79 | 7.29 |
| 3 | 斉藤 俊(4年) | 4'03"12 | 7.29 |
| 4 | 月崎 竜童(4年) | 4'03"95 | 4.14 |
| 5 | 野村 圭吾(2年) | 4'06"67 | 4.29 |

男子 5000m

| | | | |
|---|-----------|----------|------|
| 1 | 松本 翔(4年) | 14'30"18 | 6.24 |
| 2 | 石原 宏尚(4年) | 15'12"52 | 10.7 |
| 3 | 竹俣 直道(1年) | 15'19"67 | 10.7 |
| 4 | 斉藤 俊(4年) | 15'29"82 | 6.24 |
| 5 | 梶井 駿介(3年) | 15'32"04 | 6.24 |

男子 10000m

| | | | |
|---|----------|----------|------|
| 1 | 松本 翔(4年) | 29'54"51 | 5.19 |
|---|----------|----------|------|

男子 110mH

| | | | |
|---|------------|-------------|------|
| 1 | 尾崎 翔(3年) | 15"32(-2.3) | 7.29 |
| 2 | 酒谷 彰一(1年) | 15"92(-0.9) | 9.8 |
| 3 | 武安 光太郎(1年) | 16"20(-0.9) | 9.8 |
| 4 | 持永 新(5年) | 17"16(-0.6) | 5.13 |
| 5 | 増本 健太郎(1年) | 17"25(-1.0) | 7.29 |

男子 400mH

| | | | |
|---|------------|-------|------|
| 1 | 深澤 眞楠(3年) | 55"78 | 10.7 |
| 2 | 酒谷 彰一(1年) | 56"20 | 10.7 |
| 3 | 伊勢田 明弘(5年) | 56"75 | 5.4 |
| 4 | 門脇 啓太(3年) | 59"00 | 10.7 |
| 5 | 江間 輝裕(1年) | 59"49 | 6.17 |

男子 3000mSC

| | | | |
|---|-----------|----------|------|
| 1 | 石原 宏尚(4年) | 9'22"89 | 7.29 |
| 2 | 月崎 竜童(4年) | 9'47"90 | 7.29 |
| 3 | 山本 祥(4年) | 10'33"53 | 6.16 |
| 4 | 松永 将幸(3年) | 10'41"34 | 7.7 |

男子 10000mW

| | | | |
|---|------------|----------|------|
| 1 | 和田 光一郎(3年) | 48'28"97 | 5.18 |
| 2 | 菅野 雄大(4年) | 48'54"44 | 4.15 |
| 3 | 北沢 太郎(3年) | 50'53"82 | 5.18 |

男子 走幅跳

| | | | |
|---|------------|------|------|
| 1 | 尾崎 翔(3年) | 7m28 | 5.13 |
| 2 | 武安 光太郎(3年) | 7m18 | 5.4 |
| 3 | 廣瀬 彬(2年) | 6m71 | 5.4 |
| 4 | 西田 昂広(1年) | 6m47 | 7.7 |
| 5 | 倉員 智瑛(4年) | 6m38 | 7.7 |

男子 三段跳

| | | | |
|---|-------------|-------|------|
| 1 | 倉員 智瑛 (4年) | 14m86 | 10.7 |
| 2 | 武安 光太郎 (3年) | 14m61 | 10.7 |
| 3 | 廣瀬 彬 (2年) | 14m02 | 5.4 |
| 4 | 西田 昂広 (1年) | 13m09 | 9.8 |
| 5 | 大谷 真人 (3年) | 12m95 | 5.26 |

男子 走高跳

| | | | |
|---|-------------|------|------|
| 1 | 小福田 大輔 (3年) | 1m80 | 7.7 |
| 2 | 倉員 智瑛 (4年) | 1m75 | 7.29 |
| 2 | 持永 新 (5年) | 1m75 | 4.14 |
| 4 | 地子 智浩 (2年) | 1m60 | 5.26 |
| 5 | 荒井 博貴 (2年) | 1m50 | 7.7 |

男子 棒高跳

| | | | |
|---|------------|------|------|
| 1 | 大谷 真人 (3年) | 4m20 | 5.19 |
| 2 | 持永 新 (5年) | 3m60 | 5.13 |
| 3 | 木村 剛 (4年) | 3m40 | 4.14 |
| 4 | 関原 孝之 (4年) | 3m00 | 5.26 |
| 5 | 原 湖楠 (1年) | 2m60 | 9.8 |

男子 砲丸投

| | | | |
|---|------------|-------|------|
| 1 | 北川 昂広 (3年) | 11m07 | 5.26 |
| 2 | 小林 宗隆 (4年) | 10m84 | 7.29 |
| 3 | 持永 新 (5年) | 10m32 | 5.26 |
| 4 | 寺島 孝明 (2年) | 9m02 | 9.8 |
| 5 | 庄司 宇 (4年) | 8m39 | 9.8 |

男子 円盤投

| | | | |
|---|------------|-------|------|
| 1 | 小林 宗隆 (4年) | 31m22 | 4.14 |
| 2 | 庄司 宇 (4年) | 31m13 | 4.14 |
| 3 | 持永 新 (5年) | 30m25 | 7.7 |
| 4 | 谷 彰一郎 (2年) | 28m94 | 7.29 |

男子 ハンマー投

| | | | |
|---|------------|-------|------|
| 1 | 寺島 孝明 (2年) | 39m13 | 10.7 |
| 2 | 庄司 宇 (4年) | 38m15 | 5.4 |
| 3 | 小林 宗隆 (4年) | 27m22 | 5.4 |
| 4 | 葉梨 輝 (3年) | 14m51 | 7.29 |

男子 やり投

| | | | |
|---|------------|-------|------|
| 1 | 谷 彰一郎 (2年) | 63m76 | 10.7 |
| 2 | 関原 孝之 (4年) | 56m28 | 10.7 |
| 3 | 北川 昂広 (3年) | 53m37 | 10.7 |
| 4 | 葉梨 輝 (3年) | 46m91 | 8.23 |
| 5 | 千葉 伸宏 (1年) | 45m12 | 9.8 |

男子 十種競技

| | | | |
|---|-----------|-------|---------|
| 1 | 持永 新 (5年) | 5682点 | 5.12-13 |
|---|-----------|-------|---------|

女子 100m

| | | | |
|---|-------------|-------------|------|
| 1 | 清水 蘭 (2年) | 13"25(+2.0) | 7.29 |
| 2 | 大久保 渥子 (2年) | 13"78(+0.5) | 7.7 |

女子 200m

| | | | |
|---|-----------|-------------|------|
| 1 | 清水 蘭 (2年) | 28"21(+1.3) | 6.17 |
|---|-----------|-------------|------|

女子 400m

| | | | |
|---|-------------|-------|------|
| 1 | 日下 桃子 (2年) | 61"92 | 5.26 |
| 2 | 清水 蘭 (2年) | 64"45 | 9.8 |
| 3 | 大久保 渥子 (2年) | 68"99 | 9.8 |

女子 800m

| | | | |
|---|------------|---------|------|
| 1 | 日下 桃子 (2年) | 2'19"11 | 9.23 |
| 2 | 宮崎 彩 (4年) | 3'00"34 | 10.7 |

女子 1500m

| | | | |
|---|------------|---------|-------|
| 1 | 日下 桃子 (2年) | 5'01"52 | 10.28 |
| 1 | 宮崎 彩 (4年) | 7'24"88 | 9.8 |

女子 3000m

| | | | |
|---|------------|----------|------|
| 1 | 日下 桃子 (2年) | 11'16"74 | 7.29 |
| 2 | 清水 蘭 (2年) | 17'49"32 | 10.7 |

女子 棒高跳

| | | | |
|---|-----------|------|-----|
| 1 | 宮崎 彩 (4年) | 1m80 | 5.4 |
|---|-----------|------|-----|

女子 走幅跳

| | | | |
|---|-------------|------|------|
| 1 | 高山 花子 (1年) | 4m89 | 5.26 |
| 2 | 大久保 渥子 (2年) | 4m53 | 9.8 |
| 3 | 宮崎 彩 (4年) | 4m42 | 10.7 |

女子 砲丸投

| | | | |
|---|------------|------|------|
| 1 | 楠木 千尋 (2年) | 8m25 | 10.7 |
| 2 | 三谷 由樹 (4年) | 7m71 | 9.8 |
| 3 | 宮崎 彩 (4年) | 5m89 | 7.29 |

女子 やり投

| | | | |
|---|-------------|-------|------|
| 1 | 楠木 千尋 (2年) | 21m76 | 7.7 |
| 2 | 大久保 渥子 (2年) | 15m70 | 5.26 |

4 主務より

1、10月20日(土)、昭和記念公園にて行われました、箱根駅伝予選会に際し、応援に駆けつけて下さったOB、OGの方のご氏名を報告いたします。(敬称略)

1976年卒 田上静之

1982年卒 中山亨

1983年卒 小林徹

1983年卒 八田秀雄

1984年卒 渡辺吏

1992年卒 松浦幹太
 1993年卒 北澤剛久
 1994年卒 工藤麻衣子
 1996年卒 山岡和貴
 2001年卒 近藤航介
 2001年卒 中台慎二
 2001年卒 新妻拓弥
 2003年卒 橋本武
 2004年卒 田坂和彦
 2004年卒 松崎孝大
 2005年卒 池田大行
 2005年卒 藤田靖浩
 2005年卒 吉岡和夫
 2006年卒 稲垣誠
 2006年卒 田中佑貴
 2006年卒 米田武史
 2007年卒 新井邦生
 2007年卒 岩永将太
 2007年卒 小野剛志
 2007年卒 河本和美
 2007年卒 木村栄三
 2007年卒 黒澤徹也
 2007年卒 清水里紗
 2007年卒 長澤寛規
 2007年卒 向田恵
 2007年卒 山崎大

ご多忙の中、朝早くよりお越しくございましたことに心よりお礼申し上げます。

2、今後の行事予定をお知らせいたします。

- ・OB ゴルフコンペ 11/11(日) 季美の森
- ・120周年記念パーティー 2/10(日) LEVELXXI(東京會館 21 階) @大手町
- ・倶楽部総会 3月中
- ・東京六大学対校陸上競技大会 4月上旬
- ・関東インターカレッジ 5月中
- ・東京地区国公立大学対校陸上競技大会 5月下旬
- ・全日本インターカレッジ 未定
- ・国立四大学対校陸上競技大会 7月上旬 群馬大主管
- ・全国七大学対校陸上競技大会 7月末 東北大主管
- ・OB 戦 未定
- ・一橋戦 9月上旬
- ・京大戦 9月下旬～10月上旬

・箱根駅伝予選会 10月中旬

3、120年記念パーティーの開催について

行事予定にもあります通り、2/10(日)の13:00～15:00に120年記念パーティーが開催されることになりました。場所は、大手町にあります東京會館21階のLEVELXXIという店になります。場所は決まっておりますが、当日の内容等に関しましては、現在、1967年卒の伊澤敏彦先輩を中心としました特別委員会にて準備を進めている段階であります。正式な案内状に関しましては、また後日お送りいたします。多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。何かご不明な点がございましたら、学生主務までご連絡下さい。

4、慶弔のご連絡は下記連絡先までお願い申し上げます。

総務委員長:田上静之

TEL:03-3835-6792

(凸版印刷株式会社経営監査室)

E-mail: seishi.tanoue@toppan.co.jp

学生主務:小福田大輔

〒133-0056 東京都江戸川区南小岩3-5-13

TEL:090-8046-2117

FAX:03-3673-5819

E-mail: swe-ep-red19@hotmail.co.jp

来シーズンも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

主務 小福田 大輔

文責:田中 裕一郎